

## 環境産業まつりに参加しました 9月4~5日

地域循環型社会をつくるため、環境に配慮した製品の展示や新たな環境配慮技術の情報などを提供する「第2回山形県環境産業まつり」が山形市で開催されました。

環境科学研究センターも、親子で楽しめる環境科学体験をテーマに参加しました。

### 「地球にやさしく」風船



君たちが大きくなった時も住み良い地球でありますように

### あなたの大声は何デシベル？



1. むらまつひろきくん 111.6db
2. まつだてつぺいくん 111.5db
3. まつもとつろうくん 109.2db
4. ふるせたくやくん 109.1db  
えんどうやすしくん 109.1db
5. さいとうたかおくん 106.9db



### 「pH (ピーエイチ)」って知ってますか



紫キャベツ色素を利用した溶液で、酸性・アルカリ性を調べました



### ポスター裏を利用したペーパークラフト



### 環境ゲームコーナー



### 水の濁り測定コーナー



どうしどけい だくだけい  
透視度計と濁度計を使って川の濁りを調べました  
「底の#」が見えたら言ってね



### 手作りゲームコーナー



ダンボールや牛乳パック、コピー裏紙を利用してピンゴやダーツをして遊びました



### 地球にやさしい種をまこう



わたし、こんなことやってます

## 8月25日 やまがた酸性雨ネットワーク会議



当センターを会場として「やまがた酸性雨ネットワーク会議」が開催され、事業計画の協議・情報交換が行われました。事業としては、昨年度に引き続き「県内一斉酸性雨調査」を11月に実施することが決まりました。

今年は、参加対象を県内の学校のほかに企業、県民の方にも広げ、県内をくまなく調査して、地域特性などを把握したいと考えています。

(参加したい方はホームページ <http://www.pref.yamagata.jp/06/060505> をご覧ください。)

# ★地球にやさしい種をまこう～わたし、こんなことをやっています～

地球にやさしくするために、どんなことをやっているか、どんなことをやっていくか、やがて芽が出て大きく育つ種を、牛乳パックで作ったしおりに書いてもらっています。  
みなさんの「やさしい種」を書いてくれませんか。  
～当センター情報棟にて実施しています～

マイバッグ しっかり持てば  
石油はなくならな

ごみはきちんと  
分けて捨てます

顔を洗つ時、水は流  
しっぱなしにしない

ごみはごみ箱に捨てよう



給食は残さず食べます

暗くなつたら仕事はしない

移動は近くなら徒歩で  
あまり車を使わない

電気も水も大切に  
無駄に使わない

無駄なコンセントは  
抜いてごらん

テレビや電気のつけ  
っぱなしはご

ものは考えてか  
ら捨てよう

水をちゃん  
と止める

はみがきは水を  
コップに入れて

食べ物は最後まで  
きっちり食べよう

書いてもらった「やさしい種」の一部です

## 置賜ホットニュース みどい推進機構 三森 和裕

### 最上川 その2 「置賜白川のダム湖」

最上川白川には、山形県内では初めての国営ダムが昭和55年(1980年)に竣工しました。県内初のロックフィルダムで、できるだけ自然景観の保全をはかりました。自然との共生。当時としては、画期的なことでしたでしょう。その後、23年後の平成15年に、ダム湖畔周辺は、第1回「次代につなぐやまがた景観賞」の県知事賞を受賞しました。

風景の特に優れた地域として認知されたわけです。この風景の特徴は、単に自然が美しいということではなく、人との関わりの中で創られた人工的な風景であることです。ダム湖、ダム湖畔のヤナギ林、ダムの堤、杉林と雑木林、背後に映えるシンボルの飯豊連峰。水鳥のカモやサギなどの多様な生物群が水辺に織りなしている風景こそ、自然との共生の場所です。

## 環境す・語録

環境保全活動を行っている方々の印象に残った一言を紹介します。

「雪国の人が雪のない生活を真似して「いいな」というのでは人口流出は防げません。経済効率だけではなく、ある程度ロマンを視野において、なおかつ、産業振興に寄与しようとやっています。」

エコ産業プロジェクト研究会 鈴木将光さん(環境パートナーシップ形成支援事業実績報告会にて)

## ミスター佐竹のセンター紹介

今号では、環境化学部の仕事を紹介します。

環境化学部は、主に昨年度から始まったダイオキシン類の分析業務を行っています。ダイオキシン類の分析は超微量な物質を測定するため、分析結果が出るまで多くの分析過程を経なければならず、とても気を遣い、手間がかかります。

分析する試料は大気、河川水、地下水、土壌、排ガス、排水など様々です。

主な仕事場は、第4・5号で紹介したケミカルハザードの中で、閉じこめられた状態で黙々と分析をしています。時々、気分転換?に廃棄物焼却炉などの煙突に登り、排ガス試料のサンプリングを行います。時には高さ約15mでの作業となることもあり、風の強い日などは気分転換どころか恐怖心と戦いながら機材の上げ下げを行います。

このように、環境化学部は、分析については繊細な神経を使い、サンプリングについてはとても体力を使う仕事をしています。

## ほっとnews ほっとnews ほっとnews ほっとnews

ネイチャーゲームを体験して  
学習への活用方法を考えてみませんか  
開催日：平成16年10月16日(土) 9:00～15:30  
集合場所：村山市東沢バラ公園入口駐車場一番上  
講師：(社)日本ネイチャークラブ協会  
トレナ-コ-ディネ-タ- 白川 広之 氏  
申込期限：10月8日まで  
申込方法：氏名・所属、連絡先を下記まで  
【申込・お問合せ】0237(52)3124

環境EXPOに参加します  
10月29日～31日、ビッグウイング(山形市)で開催される“環境EXPO”に参加。  
また、31日には、同会場で「地球となかよし～こどもエコクラブ発表会」を開催。